

その他に関する意見

○：質問・疑問 ●：提案・要望

A 委員からの意見

- 目標に対して実績が0に近い取り組みに関して、具体的にどうするか。何をアクションとして起こすか。もっと突き詰めて考える必要があるのではないかと思う。

B 委員からの意見

- 域外からのサイクリストが確実に増加していると感じる。サイクルラックを置く飲食店や観光スポットも増えている。サイクリストをターゲットにしぼり、都内で大々的なPRに取り組むとよいのでは。新たなものを発掘するより、流れに乗って資金投下したほうが効率がよいと考える。同時に、道路整備もしたほうがよさそう。サイクリストに優しくない道路事情だと感じる。
- 前回（29年度効果検証）のシティプロモーション事業の一環で、「引き続き採用」としていた凸版印刷の矢尾参与の存在について、30年度効果検証ではふれられていないが、経過報告がほしい。おそらく市民のほとんどがその存在を知らないのではないか。
- 全体的に、過去からの積み上げ資産（金額ではなくナレッジ的な部分）として何が残っているのかが見えにくい。それゆえ、今後どうなっていくかの見通しがイメージしづらく、最終的にKPIが達成できそうかどうかの判断基準も持ちづらい。

C 委員からの意見

- 第4次館山市総合計画の前期基本目標にある基本目標7「広域行政の推進」に関わる取り組み状況はいかがでしょうか。
計画にありますとおり、観光においても農水産業の振興においても他地域との差別化を図るため地域ブランドとし「花のくに」ブランドの立ち上げを検討されてはいかがでしょうか。
- 安房地域は日本国内で花卉栽培発祥の地の一つです。「花のくに」ブランドを標榜できる地域は他にありません。三市一町でブランド化を協力して推進することで、近隣自治体と連携した観光PRや地場産品の差別化が図れるのではないのでしょうか。
「花のくに」館山産の〇〇、花はもとより農産物や海産物もブランド名を冠することが可能と考えます。ご検討いただければ幸いです。

E委員からの意見

- 後期基本計画であるが、財政難と人手不足の傾向が続くと思うので、既存事業については改善・縮小・民間主導にする・廃止など行財政改革の視点も合わせながら素案を策定してもらいたい。一方、新規事業でも必要性が高く、かつ他の自治体で成果をあげているものについては、積極的にチャレンジして欲しい。

G委員からの意見

- 計画策定、評価、検証に膨大な手間・コストがかかるので、計画一本化を強く要望致します。全体的に、経済効果の視点を徹底して欲しい。人が来ても、そのためのコストがかかり、収益に結びつかなければ、市民が苦しくなるばかり。